



平和サミットの開催



協働のまちづくりの推進



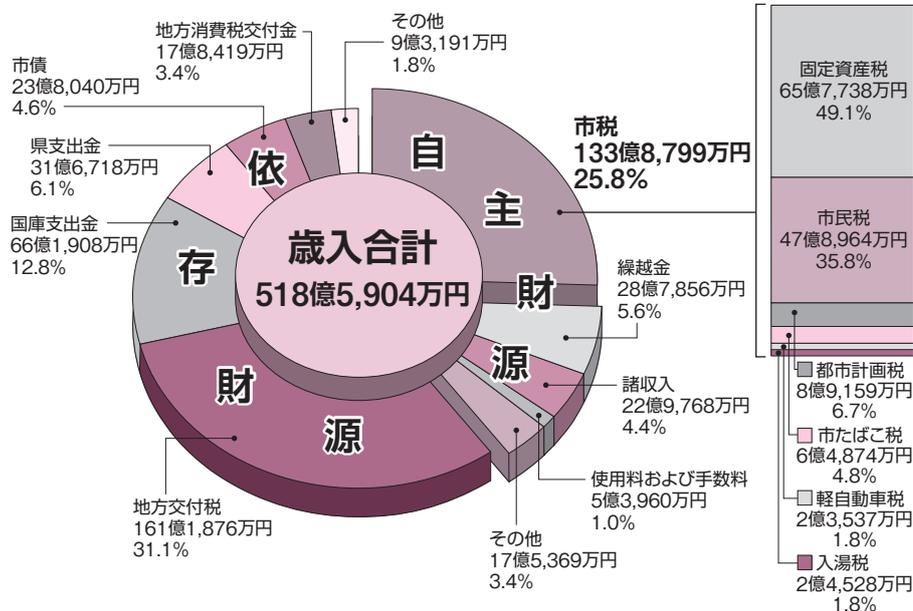
高地トレーニング強化拠点施設の整備

平成27年度

決算報告

市の家計簿ともいえる平成27年度の各会計の決算がまとまりました。皆様から納められた税金や国・県からの補助金などがどのくらいあり、何に使われたのか紹介します。

歳入(入ったお金)と歳出(使ったお金)の内訳【一般会計】



歳入 ■ 518億5,904万円 (495億6,696万円)

歳出 ■ 478億6,092万円 (452億8,840万円)

※ () は平成26年度決算

平成27年度一般会計決算は、「市民が主役」の理念のもと、地域を活性化させる活動に取り組めるよう「協働のまちづくり」に対する支援を行ったほか、平和サミットの開催、福祉サービス総合相談支援センターの開設、乗鞍山麓五色ヶ原の森生態系調査など環境政策の推進、プレミアム付き商品券の発行、高山駅自由通路展示物の製作、豪雨・豪雪災害の復旧など、総額478億6,092万円を支出し、翌年度への繰越財源9億4,198万円を除いた実質収支は30億5,614万円の黒字となりました。

● 財政力指数
財政基盤の強さを表す指標で、基準値を1として、1を超えるほど財政力が強い(豊かである)といえるものです。
高山市は合併直後で0.48になりましたが、平成27年度は0.52でした。

決算にみる市の財政状況

Topic

財政の用語

- 自主財源** 市が自らの手で徴収、または収納できる財源。市税、使用料、手数料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理することができるように、市の財政力に応じて国が交付するお金のこと。
- 市債** 市がする借金のこと。大規模事業を行う場合、大きな働きをします。